



男女共同参画社会づくりについて

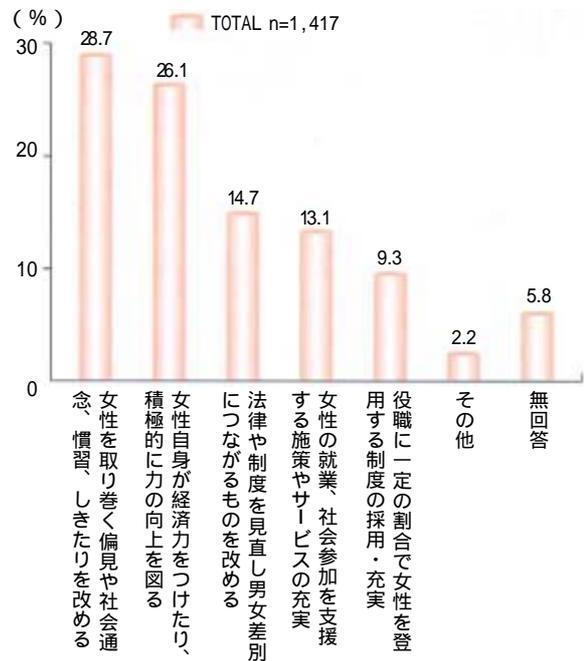
偏見や社会通念、慣習、しきたりを改め、女性自身が力の向上を図ることが重要

男女平等になるためには、「女性を取り巻く偏見や社会通念、慣習、しきたりを改める」(28.7%)ことや「女性自身が経済力をつけたり、積極的に力の向上を図る」(26.1%)ことが必要と考える割合が高くなっています。

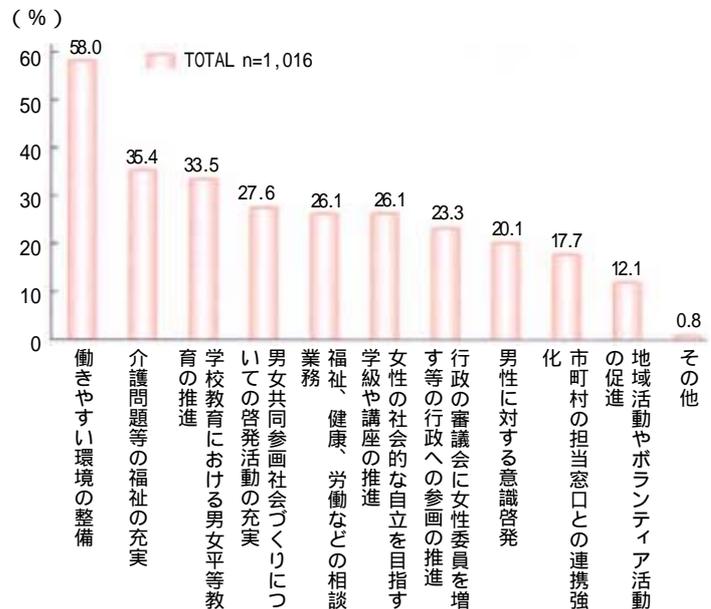
約6割が「働きやすい環境の整備」を期待

男女共同参画社会を形成するために県がすべきこととしては、「働きやすい環境の整備」を期待する割合が高く、過半数(58.0%)の人が望んでいます。また、「介護問題等の福祉の充実」や「学校教育における男女平等教育の推進」を期待する人も3割を越えており、主に労働、介護、学校教育において男女共同参画の推進に力を入れるべきであると考えられる割合が高いようです。

= 男女平等になるために重要なこと(MA) =



= 「男女共同参画社会」を実現するために県がすべきこと(MA) =



男女共同参画社会づくりのための県民意識調査報告書

- ダイジェスト版 -

平成 13 年 3 月

〔発行〕宮崎県生活環境部女性青少年課

〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号 TEL: 0985-26-7040